

団 体 名	札幌ワイルドサーモンプロジェクト (SWSP)
事 業 名	札幌ワイルドサーモンプロジェクト (SWSP) 展示とポスター発表
活 動 場 所	札幌市農試公園内の琴似発寒川、および札幌市豊平川さけ科学館
活動日(期間)	8月9日 10:00~11:00 (琴似発寒川)、8月10日~20日 (豊平川さけ科学館)
参 加 人 数	琴似発寒川 (約 112 名)、豊平川さけ科学館 (1日平均 300 名来館)

当札幌ワイルドサーモンプロジェクト (SWSP) は、「平成26年北海道 e-水プロジェクト5周年記念特別活動助成金」を活用して、札幌・豊平川に生息する野生サケの現状と、札幌との密接な関わり、また「札幌ワイルドサーモンプロジェクト (SWSP)」の活動目的などについて説明するカラーポスターパネル (A1判、5枚組み各1点) を制作しました。内容は以下の通りです。

- ポスター1 「ふるさとの川へアシリチェブ」
- ポスター2 「自然産卵イチャンチェブ」
- ポスター3 「うけつぐ命オイシルチェブ」
- ポスター4 「誕生シペラム」
- ポスター5 「野生サケと暮らすカムイチェブ」



8月9日午前、札幌市西区の札幌市農試公園横を流れる琴似発寒川で開催された、札幌市豊平川さけ科学館主催の市民向けイベント「公開さかな調査」の会場で、SWSPのポスターパネル5点を展示し、SWSPのメンバーらが、来場の参加者に対して、札幌における野生サケの生息状況や、SWSPの活動目的などについて、詳しく解説しました。会場には「北海道 e-水プロジェクト」ののぼりを掲げました。好天に恵まれ、気温も上昇し、例年に増して大勢の参加者が集まるイベントになりました。多くは幼児から小学生までの子どもを含む家族連れで、さけ科学館スタッフの指導のもと、川の浅瀬で水生生物の捕獲を試みたり、特設の「タッチプール」で生きた魚類やエビ類に触れあったり、楽しんでいる様子でした。

掲示されたポスターの前にも人垣ができ、SWSPメンバーの解説を興味深く聞いてくださいました。「豊平川にカラフトマスは遡上しますか?」「琴似発寒川にもサケは遡上しますか?」「札幌でサケの遡上が見られるはいつごろですか?」といった質問も寄せられ、地元の川に遡上してくるサケについて、市民が大きな関心を寄せていることがうかがえました。



翌日の8月10日から、札幌市南区の札幌市豊平川さけ科学館内にコーナーを特設し、SWSPポスターパネル5点の展示を開始しました。

これらSWSPポスターパネル5点は、「平成26年北海道 e-水プロジェクト5周年記念特別活動」期間が終わる8月20日以降も、SWSPの広報活動に大いに利用していく計画です。2014年11月3日には、札幌市内でSWSPをテーマとする公開フォーラムを計画しており、その会場でもポスターパネルの展示を予定しています。

「平成26年北海道 e-水プロジェクト5周年記念特別活動助成」のおかげで、非常に大きな成果を上げることができました。心からお礼申し上げますとともに、どうぞ引き続きご理解とご支援をたまわりますようお願い申し上げます。

